

令和元年度 第4回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会懇談会議事メモ

1. 日 時：令和2年1月30日(木) 13時30分～14時25分
2. 場 所：【鹿屋体育大会場】鹿屋体育大学管理棟2階 大会議室
【東京会場】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター2階 多目的室4
3. 出席者：【学内委員】松下、森、石田、原田の各委員
【学外委員】宮嶋委員
4. 列席者：緒方監事、山田附属図書館長、荻田学長補佐、瓜田学長補佐、濱田学長補佐、前田学長補佐、事務局次長兼教務課長、学生課長、学術図書情報課長、総務課長、経営戦略課長、財務課長、施設課長、監査室長

5. 内 容

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)

議事に先立ち、学長から、今回は定足数を満たさなかったため懇談会を開催し、審議事項については、後日、書面会議を開催することの発言があった。

1) 前回議事要旨確認(資料1)

令和元年度第3回経営協議会議事要旨(案)について確定された。

2) 審議事項

(1) 令和2年度鹿屋体育大学予算編成方針(案)について(資料2)

石田委員から配付資料に基づき、令和2年度鹿屋体育大学予算編成方針(案)について説明があった。

OURAとは既にこういう仕事をする人たちが存在しているのか。

●ほとんどの国立大学では既に配置しており、総合大学だと6~7名はいるが、本学は対応が遅れている状況である。

(2) 国立大学法人鹿屋体育大学職員給与規則等の一部改正(案)について(資料3)

羽室総務課長から配付資料に基づき、国立大学法人鹿屋体育大学職員給与規則等の一部改正について説明があった。

3) 報告事項

(1) 平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について(資料4)

石田委員から配付資料に基づき、平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について説明があり、本学の評価結果は全て「順調」である旨報告があった。

○評価結果を見ていると、どの大学もそれぞれ特徴があると感じているが、どの大学も経営的に財源不足であり、外部資金を獲得することが今後も重要であると思うが、どのように獲得していくのが課題になっている。

●外部資金にも2種類あり、使い道が決まっている共同研究、受託研究及び科研費と大学の判断で使える寄附金がある。本学には、鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団が既にあるので、この財団とは別に寄附金を集めないといけない。修学支援基金制度を設置した際、寄附を募るとき

に財団と重ならないよう理事長にはお断りをした。今後進め方をよく検討しなければならない。

○(株)財宝からは直接寄附金をもらっている。

●この4年間は有難い寄附を頂き、有意義に使わせていただいている。

●外部資金の3割くらいは、用途が限定されない間接経費として使用できるので、URAをうまく活用し、外部資金を獲得していきたい。

●いい知恵があればぜひ教えていただきたい。

(2) 令和2年度鹿屋体育大学運営費交付金等予定額の概要について(資料5)

浦口財務課長から配付資料に基づき、令和2年度鹿屋体育大学運営費交付金等予定額の概要について説明があった。

○壁面収納式移動観覧席はまた不採択となった。

●本学設立当初は、この体育館で入学式や卒業式を行っていた。今は、カレッジスポーツデイ等の大会を見るという目的に変わってきており、必要な施設だと思うが、採択されるのは難しい状況である。

4) 学内外の諸情勢について

(1) 開学四十周年記念事業及び同窓生との情報交換会について(資料6)

学長から配付資料に基づき、開学四十周年記念事業及び同窓生との情報交換会について説明があった。

○同窓生との情報交換会は、場所を変えて開催しているのか。

●同窓会が決めて行うものであるが、去年は福岡、一昨年は大阪、その前は本学で行っている。できれば本学と外で交代で行いたいが、外が続いている。令和3年度の開学四十周年の際は、ホーム・カミングデイを同窓会と連携して開催したいと考えている。また、金高教授がSCCOTの説明を行ったが、早速、教育関係の同窓生から使用したいという要望もあったので、成果はあったのではないかと思う。

(2) 学生の競技成績について(令和元年10月～12月)(資料7)

瓜田学長補佐から配付資料に基づき、学生の競技成績について説明があった。

5) その他

(1) 令和元年度の経営協議会開催日程について(資料8)

羽室総務課長から配付資料に基づき、令和元年度の経営協議会開催日程について説明があった。

以上